| 科目名 | | 内容 | 学位プログラムの到達目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | Ⅰ 態度・志向性 | | | | | | | Ⅱ 知識・理解 | | | | Ⅲ 技能 | | | | | | | | | Ⅲ−2 汎用的能力 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | Ⅲ−1 専門的能力 | | | | | | | | | | | |
| | | | ○幅広い分野の学問や研究に関心を持ち、主体的に学ぼうとする意欲を持つ | ○様々な学問に関して、幅広く基礎的な知識を得ようとする態度を持つ | ○現代における諸問題を見出し、その解決のために主導的に取り組む姿勢を持つ | ○幅広い基礎的な知識を有機的に統合し活用しようとする態度を持つ | ○国内のみならず海外に関心を持ち、国際的な視点で活動しようとする積極性を持つ | ○社会の一員としての責任を自覚し、幅広い視野を持った市民としての姿勢を持つ | ○社会の組織に積極的な関わりを持ち、様々な場面で組織をリードする姿勢を持つ | ○諸学問について基礎的な知識を幅広く修得し、これを相互に関連させ体系化された知識として身につけている［基礎的な知識］ | ○社会の諸問題を発見し、取り組むべき課題の設定とその解決のために活用できる専門的な知識を持つ［専門的な知識］ | ○国際的な視点で思考し行動するための知識を有し、現代の国際社会が抱える諸問題を理解している［外に開かれた知識］ | ○従来の個々の学問分野では対応が難しい多様な諸課題に関して、これらの課題解決のために、さまざまな学問分野を有機的に連結した知識を活用できる［創造を引き出す知識］ | ○様々な学問分野を有機的に連結し、総合的な判断や分析を行うことができる | ○様々な学問分野についての幅広い基礎的な知識を踏まえ独自の研究テーマを設定できる | ○設定した研究テーマについて、研究を行うための計画を作成できる | ○研究の進度、成果および課題を検討し、研究計画の変更や改善ができる | ○設定した研究テーマについて指導者を見出し、的確な研究指導を受けることができる | ○研究を行うための専門的な基礎知識を有機的に連結して活用できる | ○日本語と英語の発想法の違いを理解し、日本語のみならず英語でも論理的な思考ができる | ○英語に加え、第二外国語の運用能力を獲得し、活用できる | ○海外の大学において外国語で学修・研究を行うことができる | ○調査・研究の成果を専門外の人にも分かり易く説明できる | ○専門外の研究についても関心を持ち、研究の成果や課題を見出し正しく評価できる | ○外国の文化や社会を理解し、国際社会とコミュニケーションをとることができる |
| チュートリアル | Ⅰ・Ⅱ | 21世紀プログラムにおいて学生が自主性を持って柔軟な領域横断的研究を行っていくための基本となる個別指導を行うことを目的とし、このために、学生の学問や将来の仕事、さらには日常生活における問題意識を高めることを支援するための指導や助言を与える。 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Ⅲ・Ⅳ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Ⅴ・Ⅵ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Ⅶ・Ⅷ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 課題提示科目 | Ⅰ～Ⅳ | 現在我々が直面しているさまざまな問題にはどのようなものがあり、それらを解決するためにどのような実践的な取り組みが行われているのかについて、具体的な知識を得ることを目的とする。このために、現実の社会で起こっている問題に実際に携わっている外部非常勤講師を招へいし、外に開かれた生きた知識の修得を目指す。テーマとして“国際”、“環境・生命”、“社会・文化”、“情報”を掲げている。 | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| プログラム・ゼミ | Ⅰ～Ⅳ | 学生の自主的・自発的な調査研究能力や発表能力、積極的な議論能力を高めることを目的としている。このために、発表と討論を中心とした1・2学年混合型のクラスを編成し、現代の“社会や政治”、“経済や文化”、“歴史や思想”、“科学・技術”などの広範囲にわたる重要な問題をテーマとして取り上げ、原則として指定したテキストや文献の講読中心とした発表と討論中心に、各テーマについて複数名の教員がグループをつくって担当する。 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Ⅴ～Ⅷ | 学生の自主的・自発的な調査研究能力や発表能力、積極的な議論能力を高めることを目的としている。このために、発表と討論を中心とした3・4学年混合型の2クラスを編成し、“学際的コミュニケーションの方法”と題して、学生自身の調査研究報告を題材とした発表と討論中心に、各テーマについて複数名の教員がグループをつくって担当する。 | | | | ○ | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | |
| 21世紀プログラム英語 | A−discussion | この授業では、おもにグループ・ディスカッションを通してコミュニケーション力を養成する。各週ごとにさまざまな現代的テーマを取り上げ、英語によるディスカッションによってコミュニケーション力を養成するとともに、合意形成のプロセスを学習する。 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| | B−presentation | この授業では、おもにプレゼンテーションの演習を通してコミュニケーション力を養成する。個別のプレゼンテーション、チームによるプレゼンテーション、あるいはグループ内でのプレゼンテーションなどの演習を通して、英語によるコミュニケーション力を養成するとともに、資料の収集、パワーポイントの作成等の演習を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ |
| | C−debate | この授業では、おもにディベートを通してコミュニケーション力を養成する。ディベートの基礎を学び、その演習を通して英語のコミュニケーション力を高めるとともに、論理的な議論法、批判的思考、および資料の収集力を養成する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ |
| 課題研究 | | 学生が自分の修学計画に即した研究テーマを掲げ、研究レポート、研究成果の発表を前提とした研究活動を行う。課題研究を通して、1）研究の進め方や研究の方法を体験すること、2）研究を行う上で必要となる資料の収集や文献調査の方法を体験すること、3）成果を論文形式でまとめ口頭発表することによって、完結した研究活動を体験することが目的である。<br>・10月第1週までに研究テーマ名を提出<br>・12月第1週に中間発表会を行う（集中講義）<br>・2月第2週に発表会を行い、同時にレポートを提出する | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | |
| 専攻テーマに関連する科目 | | 自ら設定した専門分野の修得を目指して、九州大学の全学部・学科で開講される専攻教育科目を計画的に履修する。 | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | |
| 卒業研究 | | 21世紀プログラムでの学修過程において、自らが見出した研究テーマを設定し、研究指導教員の指導の下で研究を行う。4年間の学修成果の総括と位置付けた研究論文を執筆する。 | | | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | |
| 特別科目 | A | 自らの修学計画に沿って、海外の大学（教育機関）で修得した単位を互換する。 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | B | 自らの修学計画に沿って、国内の他大学（教育機関）で修得した単位を互換する。 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 社会連携科目 | A | 海外の社会的な活動団体等で、自らの課題意識に基づき明確な役割分担と指導者の指導の下で行った活動を認定する。 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | B | 国内の社会的な活動団体等で、自らの課題意識に基づき明確な役割分担と指導者の指導の下で行った活動を認定する。 | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 短期交換留学 | | 国際交流推進室が実施する交換留学協定に基づく交換留学。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | ○ |
| 海外研修プログラム | | 国際交流推進室等が実施する協定に基づく海外語学研修等のプログラム。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ |
| 基幹教育科目 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ |